【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公開番号】特開2008-42469(P2008-42469A)
【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-007
【出願番号】特願2006-213415(P2006-213415)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　9/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　9/00　６０１Ｂ
Ｈ０４Ｌ　9/00　６０１Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成21年8月4日(2009.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置全体の制御を制御プログラムに基づいて実行する制御手段と、
入力データを暗号化・復号処理するための暗号化・復号処理モジュールと、
前記暗号化・復号処理モジュールで使用する鍵を生成し、前記暗号化・復号処理モジュールへ配送するための鍵管理モジュールと、
前記鍵管理モジュールから配送された鍵を保持し、該鍵が前記暗号化・復号処理モジュールから参照されて暗号化・復号処理に用いられる記憶手段とを備え、
前記制御手段は、前記記憶手段に保持されている鍵を検査し、前記記憶手段に予め定められた鍵が保持されていないと判断した場合には、前記鍵管理モジュールに鍵配送要求を送信し、鍵配送の終了後に前記暗号化・復号処理モジュールに暗号化処理命令を送信し、前記記憶手段に前記予め定められた鍵が保持されていると判断した場合には、前記鍵管理モジュールに鍵配送命令を行うことなく、前記暗号化・復号処理モジュールに暗号化処理命令を送信することを特徴とする通信暗号化処理装置。
【請求項２】
前記記憶手段に保持されている鍵の状態を表わす管理情報を保持する管理情報保持手段を備え、前記制御手段は、前記管理情報保持手段を参照して、前記記憶手段に予め定められた鍵が保持されているか否かを判断することを特徴とする請求項１に記載の通信暗号化処理装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明に係る通信暗号化処理装置は、装置全体の制御を制御プログラムに基づいて実行する制御手段と、入力データを暗号化・復号処理するための暗号化・復号処理モジュールと、前記暗号化・復号処理モジュールで使用する鍵を生成し、前記暗号化・復号処理モジュールへ配送するための鍵管理モジュールと、前記鍵管理モジュールから配送された鍵を

保持し、該鍵が前記暗号化・復号処理モジュールから参照されて暗号化・復号処理に用いられる記憶手段とを備え、前記制御手段は、前記記憶手段に保持されている鍵を検査し、前記記憶手段に予め定められた鍵が保持されていないと判断した場合には、前記鍵管理モジュールに鍵配送要求を送信し、鍵配送の終了後に前記暗号化・復号処理モジュールに暗号化処理命令を送信し、前記記憶手段に前記予め定められた鍵が保持されていると判断した場合には、前記鍵管理モジュールに鍵配送命令を行うことなく、前記暗号化・復号処理モジュールに暗号化処理命令を送信することを特徴とする。